

# 9月定例会一般質問



## 教職員の長時間労働、福祉医療の県方針を問う

### 米原市民報

日本共産党米原市議員  
山脇正孝 Tel.52-1093  
日本共産党米原市議員  
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

#### 一般質問発言要旨

#### 山脇正孝議員の一般質問

1、教職員の長時間労働を解決し、豊かな教育実現を

①教職員の長時間労働の実態をどう考えているか

②勤務時間の推移と解決策、教育現場の長時間勤務の悪しき風土の改革を

③残業上限規制を超えた教員の人数と超勤縮減対策、管理職への指導は

④市内小中学校教員の精神性疾患による病休者休職者の人数と復職支援は

⑤コロナ後の出張等の復活状況と教職員の負担軽減のための精選・削減は

⑥教頭の長時間勤務を軽減するためマネジメント支援員の計画的導入を

⑦学校の希望に応じ、余すことなく会計年度任用教員等の配置を

⑧2学期の始業式を9月からにできないか

⑨メリハリのある学校カリキュラム改革で子どもと教職員にゆとりを

⑩働き方改革における管理職のマネジメント能力発揮のための指導・助言は

#### 雑感

私たちの会議で話題となるのは、学校を中心とする教育の現状と農業をめぐる問題です。どちらの問題も、とても重要な問題で喧々譁々の議論となります。これからの日本を支えていくためには2つの課題は欠かせない重要事項です。農水省が8月7日に「22年度食料自給率・食料自給力指数」を公表しています。カロリーベースでは、前年と同じ38%で、小

数点以下では前年から0.37ポイント低下しており、40%を下回るのは13年連続です。生産額ベースの受給率でも5ポイント低下して過去最低の58%となっています。その中でびつくりしたのは、もし輸入停止など不測の事態で国内生産でどれだけ食料を供給できるかを示す「食料自給力指数」です。日本人が体重を保つのに必要なエネルギーは2168kcalだそう。米・麦中心の食生活では、それより20%低い飢餓状態。イモ類中心の食生活ではそのカロリーを9%上回るだけです。農水省は、いざとなった時の食卓のメニューを示しています。悪夢のような食卓です。どなたか是非1週間でも試してみたいが、自分では試す勇気はありません。今、岸田内閣は、アメリカの武器を買うために、これから莫大な予算を費やそうとしています。それよりは国民の「食料」を守ることを安全保障上最重要と考えます。今、政治が本腰を入れて食料自給率を上げなければ、ますます農地の荒廃してしまいます。農民は一生懸命守ろうとしています。今、国の農業政策はおかしい。

発言通告に基づき、9月定例会での一般質問内容及び順番が確定しました。発言者は9名、日本共産党米原市議団の山脇議員は6番目、藤田議員は最後の9番目です。慣例により1日7人となっていますので、山脇議員は5日午後3時30分頃、藤田議員は6日午前10時半ごろ予定しています。時間はあくまでも予定ですので前後します。

#### 藤田正雄議員の一般質問

1、県の福祉医療新方針に伴う市の対応について問う

①首長会議での知事の方針について市長の受け止めを問う

②市は、本年10月から高校生医療費の無料化実施との整合性を問う

③精神障がいに対する福祉医療制度の拡充が図られることについて

④更なる福祉医療制度の改善方向について問う

2、人工内耳装着者の現状と市の支援について問う

①中途失聴難聴者と人工内耳装着者の米原市の現状について問う

②人工内耳を装着すれば改善されるケースがあると聞きますが相談は

③米原市の電池助成、体外機助成について問う

3、農業者に対する償却資産の課税の経過について問う

①今年度、農業者に対して償却資産の申告を求められた経緯について問う

②今回、償却資産を遡及して賦課されたのは農業者だけではないのか

#### 学校給食無償化の勉強会

学校給食の無償化を求める会では、定期的な宣伝活動、署名活動を行って

います。8月27日午後、近江学

びあいステーションで全国の自治体にアポなし訪問し、教育環境の充実のため奮闘

されている岡崎利夫さんの話を聞きました。

もともと京都府内の学校事務職員として働き、学校事務に精通された方の話し

で大変参考になりました。多くの地域で、運動が広がり、今まで後ろ向きだった

が、今更なる前進を言わなければ当選できないこと。また無償化と合わせて学校給食と地域農業が

結びつくことによって、安全・安心でおいしい給食を実現できることを話されました。たいへん参考になりました。

今更なる前進を言わなければ、運動を強めて行かなければと、感

じました。